令和５年度　稲城市立稲城第二小学校　授業改善推進プラン全体計画

令和５年９月１日作成

稲城市教育委員会の基本方針

Ⅰ確かな学力の育成
Ⅱ豊かな人間性の涵養
Ⅲ健康・安全に生活する力の育成
Ⅳ未来の担い手をはぐくむ持続発展教育（ESD・SDGs)の推進

学校教育目標

○自ら学ぶ子　○心豊かな子　○たくましい子

〔目指す学校像〕
○心と体を育てる学校
○楽しい学びができる学校
○安全で安心な学校
○地域協働の学校

〈 子供に身に付けさせたい心や力 〉
い・・いきいきと健やかな心と体の育成
な・・なかよく豊かに学び合う力の育成
ぎ・・きまりを守り安全に生活する力の育成
二・・二小の地域とともに歩む力の育成

児童の実態

○学力の二極化が進んでいる。
○短答式や記述式の問題の正答率が低い。
○課題に向かって主体的に学び考えようとする態度は育ってきている。
○知識・技能の正答率は平均的である。
○家庭学習や読書に取り組む時間が少ない傾向がある。
○友達と協力することは好きだが、学び合い深めていく力は十分身に付いていない。

学力向上にかかわる重点

○児童の主体的に学ぶ態度や学力向上のための授業実践及び指導の工夫
○基本的な学習内容の定着
○思考力・判断力・表現力の育成
○ＥＳＤからＳＤＧｓへ(稲作体験・人権教育・国際理解教育・防災教育・交流活動等の推進)

ＥＳＤの推進

「新しい時代に必要な資質・能力の育成」
○６つの概念と７つの能力・態度・ＳＤＧｓの育成
○地域の方との連携による稲作体験学習
○ＥＳＤカレンダーの活用（他教科・領域との連携）
○学校２０２０レガシーの継続
・オリパラ教育で培ったオリパラの歴史や意義への理解をさらに深め、我が国と世界の国々の歴史・文化・習慣などを学び、国際理解を深め、進んで国際社会に貢献しようとする児童の育成
・スポーツの意義を理解し、進んでスポーツに親しむ児童の育成
・ボランティア精神と２１世紀型実践力を備えた児童の育成
○人権・防災・ICT(タブレットの活用)・プログラミング・キャリア教育等の推進
○人と関わる能力（コミュニケーション力）の育成(発表やグループ活動等)

生活指導

＜二小スタンダードの徹底＞
○学習を支える基本的生活習慣の定着
○学習ルールの徹底
○互いの考えを認め合い、主体的に学習に取り組む態度の育成

家庭との連携

○学習を支える家庭生活の土台作り
○家庭学習の定着
○学校ＨＰやタブレットの活用（学校だよりや学級通信の配信、タブレットを活用した家庭学習の実施）

具体的な取り組み

○週案簿を活用した計画的な教育活動の展開
○校内研究の成果（価値付け）の継続活用と計画的な研修会等の実施
○二小スタンダードの定着
○ＥＳＤを意識した教科横断的な指導計画の作成
○朝学習の時間(火・国語チャレンジ/水・読書タイム/金・算数チャレンジ)
○地域人材の活用(稲作・ぶどう栽培体験学習)
○東京ベーシックドリルの活用(朝学習、ｻﾏｰｽｸｰﾙ等)
○読書活動の充実(年２回の読書週間/読書指導)
○算数における習熟度別指導
○体力向上への取り組み(縄跳び週間)
○タブレットを活用した授業展開の工夫(調べ学習、発表、意見交流、考えの共有、画像動画撮影、学習アプリ)